

Smile & Heart

浜田医療センター情報誌 スマイル&ハート vol.40

TAKE FREE

ご自由にお持ち帰り
ください

2017年 11月号

ホームページ <http://www.hamada-nh.jp/>
Facebook <https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter>
🔍 浜田医療センター で検索！

特集／ **高齢者の骨折と
その治療について**

整形外科医師 渡辺 洋平

病院にはどんな仕事があるのかな？ ～医療クラーク～

シリーズ 医療機関・介護施設のご紹介

- ・高砂訪問看護ステーション
- ・おかだファミリークリニック

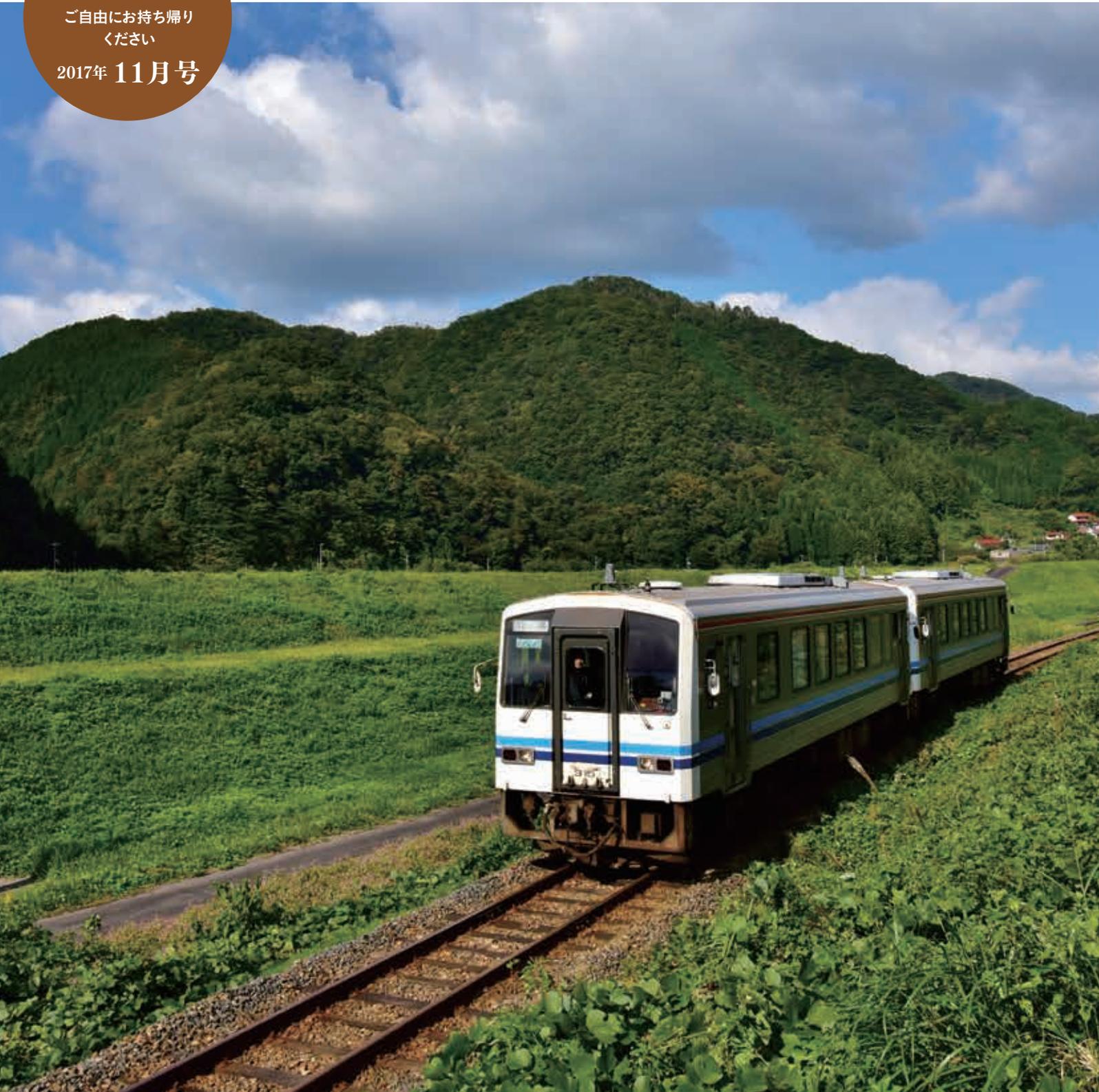
地域人 vol.26

浜田市の暮らしに届ける健康

浜田市すこやか員 会長 村井 栄美子

地域のホスピタリティを訪ねて

一般社団法人 浜田青年会議所 第60代理事長 遠藤 祐之



特集

高齢者の骨折とその治療について



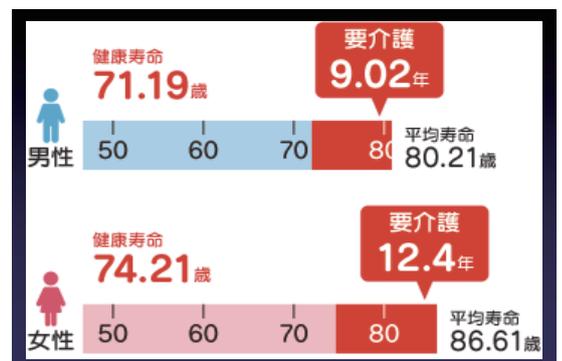
整形外科医師
渡辺 洋平

【わたなべ・ようへい】

- ・島根大学(平成15年卒業)
- ・日本整形外科学会専門医

はじめに

日常的に介護の必要なく心身ともに健康で暮らせる期間を健康寿命といい、平均寿命から寝たきり・認知症などの介護が必要な状態の期間を差し引いて計算します。我が国の健康寿命は厚生労働省の発表(2013年)によると、男性71.19歳(平均寿命は80.21歳)、女性74.21歳(平均寿命86.61歳)と世界でトップクラスですが、健康寿命と平均寿命の差が大きいことが問題です。介護が必要となった主な原因として脳血管疾患・認知症・衰弱に次いで多かったのが転倒による骨折で、全要介護者の10%を超えています。今回は健康寿命に影響を与える高齢者の骨折についてお話させていただきます。



浜田医療センターの理念

「心のこもった、情のある医療」

- 基本方針
1. 安全で良質な医療
 2. 患者中心の医療
 3. 地域との連携
 4. 健康増進への貢献
 5. 健全な経営

患者さんの権利

- ・人格・価値観が尊重される権利
- ・良質な医療を受ける権利
- ・十分な説明と情報を得る権利
- ・自己決定の権利
- ・個人情報を守られる権利

当院を身近に知っていただくため公式ホームページ及び公式 facebook を作成しています。一度ご覧ください。

ホームページ

<http://www.hamada-nh.jp/>



facebook

<https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter>



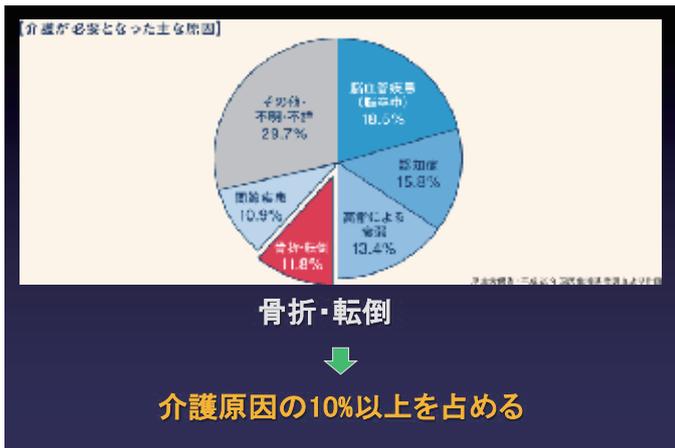
浜田医療センター で検索!

contents

- 2~4 特集：高齢者の骨折とその治療について
- 5 病院にはどんな仕事があるのかな?
- 6 地域人 vol.26
- 7 浜田を楽しく歩こう No.10
- 8~9 シリーズ：医療機関・介護施設のご紹介
- 10 研修医だより
- 11 認定看護師の活動について
- 12 地域のホスピタリティを訪ねて
- 13 浜田駅北医療フェスタのご報告
平成29年度市民公開講座の予定について
- 14 嚥下かわら版「食事の姿勢について」
- 15 病院ボランティアの募集
- 16~17 看護学校だより
- 18 接遇研修「ボイスストレッチ」
新任医師の紹介／健康レシピ
- 19 募集／奨学生募集
- 20 外来診療担当医表

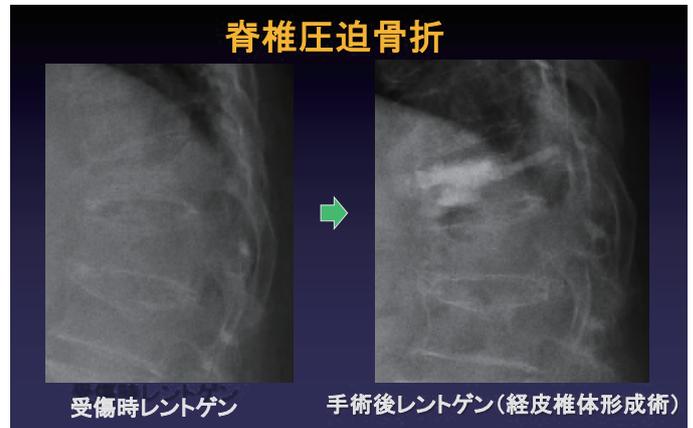
高齢者骨折の好発部位

高齢になると骨粗鬆症を生じてきますが、骨粗鬆症治療の必要性の認識不足とまだまだ低い骨粗鬆症の治療率も相まって骨粗鬆症が進行した結果、椅子の高さ位の低い位置から転倒した程度の軽微な外力が加わっただけで骨折を生じてしまう、といった脆弱性骨折という形式をとる場合が多いのが高齢者骨折の特徴です。その好発部位は脊椎(せぼね)、上腕骨近位端(かた)、橈骨遠位端(てくび)、大腿骨近位端(ふともものつけね)の4ヶ所に大別されます。骨折部位は転倒時にどの部位を打撲したかで決まってきます。各部位の骨折の特徴と治療について解説していきましょう。



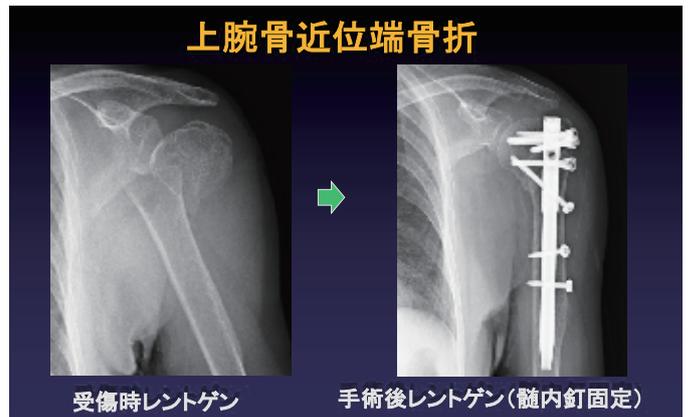
脊椎(せぼね)

よく圧迫骨折と呼ばれており、転倒した際に尻もちをつき、脊椎に軸圧がかかることで生じます。せぼねの骨折ですので主に腰背部痛が生じます。高齢者の骨折の中では一番頻度が多く、骨粗鬆症が進行している方には転倒していないのに骨折するという、いわゆる“いつのまにか骨折”を生じることもある部位です。治療は骨折の程度にもよりますがコルセットやギプスによる体幹の固定を行いリハビリテーションを併せて行うこととなりますが、骨のくっつきが悪かったり骨折の程度が複雑な場合は手術が必要になる場合があります。



上腕骨近位端(かた)

側方に転倒し肩周囲を直接打撲すると生じます。肩周囲の骨折ですので肩周囲の疼痛・肩の挙上困難が生じます。骨折部のずれが大きくなると骨折部自体がこのままでくっつきそうであれば装具や三角巾で固定し治療します。ずれが大きくと手術で形を戻さないと骨がくっつきそうになれば手術を行います。チタン製の金属を用いて骨折部を整復固定しリハビリテーションを行います。



橈骨遠位端(てくび)

転倒した際にとっさに手が出て、手を着いてしまったときに生じます。てくび周囲の骨折で、てくび周囲の疼痛やてくびのねじり動作や把握動作に制限が生じます。骨折部のずれがあまり大きくなければギプス固定で治療をします。この骨折は4大骨折の中で一番外から変形がわかりやすく、見た目に変形してしまっているようなずれの大きい骨折の場合は手術を行います。チタン製の金属を用いて骨折部を整復固定しリハビリテーションを行います。

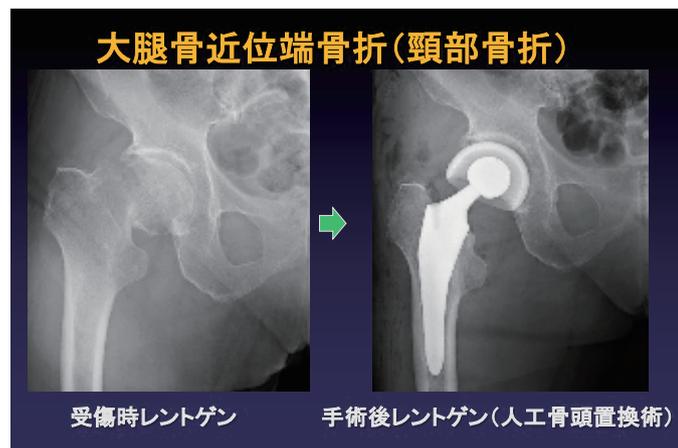


大腿骨近位端(ふともものつけね)

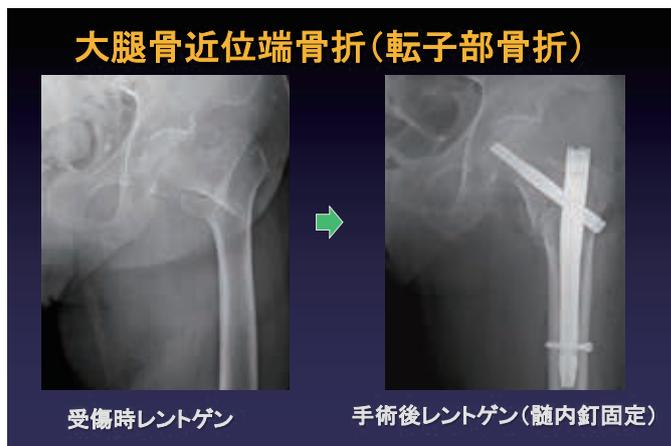
後方や側方に転倒した際にふとももの外側のでっぱり(大転子といいます)を打撲し骨折を生じます。ふともものつけねの骨折で股関節周囲に疼痛が出現します。大腿骨の骨折であり、大腿骨は股関節と膝関節をつなぐ骨ですので股関節や膝関節を動かす動作を行うと疼痛が出現します。

これはどういうことかということ、寝返りを打ったり膝立てをしたりすること(股関節と膝関節の連動動作)ですら骨折部の疼痛のため自力でできなくなることを意味し、このままの状態では寝たきりに近い状態となります。この骨折が一番健康寿命に直結するとされており、もともとケガをされる前に寝たきりの状態でない方であれば基本的には手術を考慮します。

大腿骨近位端は骨折の部位の違いで大腿骨頸部骨折と大腿骨転子部骨折に大別されます。手術は大腿骨頸部骨折の場合、骨折部を人工物で置換する手術を行い、大腿骨転子部骨折の場合、チタン製の金属で骨折部を整復固定することで疼痛を軽減させ、術後早期からリハビリテーションを行っていきます。



大腿骨近位端骨折を受傷された方は、骨折部の疼痛のため手術までの待機期間ほぼ寝たきり状態となってしまう、筋力の低下も時間が経てば経つほど進行してしまうことから、当院では麻酔科の先生や病棟・手術室スタッフの協力を仰ぎながら、できるだけ受傷後48時間(2日)以内に手術を行えるように対応しております。



おわりに

今回は高齢者の骨折をテーマに述べさせていただきましたが、骨折しないに越したことはありません。言うまでもないですが骨折の予防が重要で、その一つに骨粗鬆症の検査を受けて、必要に応じて骨粗鬆症の治療を行うことやロコモティブシンドロームに謳われた四肢体幹の筋力低下の予防で体操や運動を積極的に行い転倒しにくいからづくりをしていくことが重要と考えます。

浜田医療センター整形外科では浜田圏の脊椎四肢外傷を担う島根県西部の中核病院としてこれからも地域の健康寿命をすこしでも改善すべく精進していきますので今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

筋力低下の予防で体操や運動を積極的に





病院には どんな仕事があるのかな？

病院は、病める人を社会復帰させることを目的とし、医師をはじめとする多くの職員の連携と協力による「チーム医療」に取り組んでいます。病院の中には、さまざまな業務があります。

医局・看護部・薬剤部・検査科・栄養管理室・放射線科・リハビリテーション科・臨床工学科・事務部・地域連携室などで働いている専門職種がチーム組んで、それぞれの専門分野での経験や知識、技術を集約して、患者さんに最も適した最新の治療にあたっています。

また、適切なアドバイスや必要な情報提供を行って早期社会復帰への手助けをしています。

FILE: 07 医療クラーク Medical Clerk

働いている方に
INTERVIEW

医療クラークの仕事

～ 医療クラーク・田中さんに聞いてみた ～

医療クラークとは？

正式名称は「医師事務作業補助者」といいます。文字通り、医師の事務的な業務についてサポートする職種です。多忙な医師の負担軽減を目的に、この10年間で全国的にも普及が進んでいます。病院によってその呼称はさまざまですが、当院では「医療クラーク」という職名で従事しています。

外来診療のサポート

当院では約40名の医療クラークが、各診療科の医師の下で仕事をしています。患者さんがよく見かけられるのは外来診察室ではないでしょうか。医師の横に座り、パソコンをパチパチ入力している事務職員です。従来、医師は患者さんと話しながら電子カルテの記録も同時にしなければなりません。そこで医療クラークの出番です。患者さんと医師の話をよく聞き、漏れのないよう、わかりやすく記録します。そして、医師がパソコン画面ではなく患者さんのお顔を見ながらお話しできるよう心がけています。

紹介状や診断書の下書き

また、患者さんからお願いされた、紹介状や保険会社の診断書などの書類の下書きもしています。医師は外来、病棟、手術、救急外来など、患者さんのため常に奔走しています。その激務の合間や夜になってから、カルテを紐解き書類を作成するのは、仕事とはいえ酷な状況に違いありません。これが医療クラークによって下書きできれば、医師は確認し、必要に応じて加除修正するだけでよいのです。できるだけ医師の手直しの必要がないよう、医療クラークも勉強しながら下書きしています。

診療部
医療クラークリーダー
田中 加奈子
(10年目)



診療科に特化した行き届いたサポート

医師によって業務の指示範囲が異なるため、すべての医療クラークが上記を行っているわけではありませんが、その他にも診療科に合わせた業務をそれぞれ行っています。

さて、医療クラークはどこで知識を習得しているのか？当院では、定められた基礎研修を院内で行い、医学知識は日々の診療の中で医師から学んでいます。また、院外の研修への参加や、学会発表、専門の資格取得なども積極的に行っています。

患者さんのために

医療クラークという職種が生まれてから、医師は診療に専念できるようになり、患者さんのことをより深く考えられる時間が増えました。

これからも、患者さんが安心して医療を受けられるよう、医療クラークは縁の下の力持ちとなって頑張っていきます。



地域人

vol. 26



地域を守り
育む人たち

「浜田市の暮らしに届ける健康」

浜田市すこやか員 会長 村井 栄美子
(むらい えみこ)

今回の「地域人」は、「浜田市すこやか員」会長の村井栄美子さんをご紹介します。

活動のきっかけ

すこやか員は少し前まで町内の中で人数の割り当てがあり、そこで選出されたことから「すこやか員」として活動をはじめたのがきっかけです。

「すこやか員」というのは、浜田市にお住まいの方ならご存じの方も多いたと思いますが、浜田市が事業として立ち上げ、市や島根県が行う健康増進の取り組みを手助けする組織です。“がん征圧月間”ではチラシ配布やポスター掲示などの活動を行いました。また、三隅保健委員連絡協議会など近隣の団体との活動交流も行っています。

体制について

元々は、割り当てられた人で活動していましたが、今は自分から希望した人のみ活動しています。ほとんどが仕事を退職されてから活動されていますが、私のように50代の頃から長く続けて活動されている方もいます。

すこやか員としての登録人数は70人弱ですが、無理をしない範囲で活動参加していますので、20～30人が主に活動している人数となります。

活動について

先ほど述べたがん征圧月間でのチラシ配布では、JAや店舗での配布の他、手渡し以外でチラシを置いていても内容を見てくれないことが多いので、人目につきやすいごみステーションにラミネートしたものを掲示したりしてアイデアを出し合って工夫をこらしたり、高齢者の方の大腸がん検診の容器をまとめてもらいに行き配布するなど、行政では手が届きにくい活動を手伝っています。

その他、高齢者サロンへ参加し、参加者へ声かけも行っていますが、この声かけによる交流で早期がんの発見につながったりした例もありますので、やりがいをもって活動ができています。長くやっていると、市の担当者により熱意の差があるように感じます。得手不得手もあ

るので仕方がないことも承知していますが、非常に熱意のある方にあたると活動もしやすく、こちらにも熱意が伝染してきます。このように、私が長く活動を続けてこられたのは、やりがいをもって楽しく活動ができているためだと思っています。

最後に・・・

市町村合併で「新」浜田市になって久しいのですが、旧市町村ごとに各自治区がそれぞれ活動を行っています。これが一つにまとめれば、もっと効率よく様々な活動ができると感じています。できるかどうかわかりませんが、今後は全体をまとめた「浜田市」としての活動を行い、楽しく活動できる「いいこと」を皆さんと共有したいと思います。

～取材を終えて～

言葉に強い意志と想いを感じ、どうしたらここまでパワフルになれるのだろうと思わせる方に出会えました。心なしか話される笑顔からもパワーを感じ、私たち取材者もパワーを分けてもらうことができました。私たち浜田市民にとって非常に身近な活動をされており、感謝の思いで頭が下がります。今後とも益々のご活躍をお祈りしております。



“がん征圧月間”をPRするチラシ配布活動の様子



市の職員のみなさんと一緒に

久保田市長も応援に来てくださいました



浜田を楽しく 歩こう

健康なカラダを維持するために必要な、適度な運動を、より楽しくより長く継続していただけるように、浜田市内のオススメのウォーキングコースをご紹介します。

●問い合わせ先
浜田市役所 観光交流課 観光企画係
☎0855-25-9530



walk
No.10

浜田商港をめぐるコース

距離 5.4km

所要時間 60～90分

第10回目となる今回は、今年も3回のクルーズ客船の入港があった浜田港福井埠頭周辺の浜田商港をめぐるウォーキングコースを紹介します。

浜田港福井埠頭を発着点として、海沿いを周布方面へ歩くコースです。浜田港福井埠頭を出発すると、浜田港の海に浮かぶ臨港道路4号線が見えてきます。県道を周布方面に進んでいくと、古い街並みと新しい建物が混在する旧市街に入ります。

長浜小学校では、学校をあげて「トワイライトエクスプレス瑞風」のおもてなし活動に取り組んでおられ、平日、日中の運行時間と合えば「瑞風」と瑞風を歓迎する元気いっぱいの児童たちに会えるかもしれません。

日下義明商店は、島根県ふるさと伝統工芸品に指定されている長浜人形を主に製作する商店ですが、神楽面も製作しています。

長浜天満宮では、毎年8月の最終日曜日に八朔まつりが開催されます。八朔まつりでは、地元の方が手作りした色とりどりの造花が家々の軒先に飾られています。持ち帰り飾っておくと火災からまぬがれると云われています。初めは社前だけに飾られていた造花も今では家々の軒を飾るまでに広がりました。

最後に、海沿いへ右に曲がると、海上保安庁の巡視船が見えてきます。Uターンし、ゆっくりと波打つのかな海沿いを進んでいくと、長浜小学校前まで一周できます。



●運動前には健康チェックを行きましょう ●動きやすい服装で運動しましょう ●自分のペースで無理をせず、交通ルールを守って安全対策に努めましょう

地域医療への貢献と、理想の実現へ向けて

今回ご紹介する先生は、江津市都野津町のおかだファミリークリニック・岡田浩文 先生です。

私の地元は江津市です。医師免許取得後、研修医を経て浜田医療センターで約13年勤務した後、敬川沖田クリニック、西部島根医療福祉センターを経て、昨年の9月1日に開業し、早いもので1年が経過しましたが、改めて開業に向け後押しをしてくださりました諸先生、各方面の関係者の皆様にお礼申し上げます。

クリニックでは地域医療に貢献するため、「信頼」・「安心」・「愛情」・「成長」・「育成」そして「発展」をスローガンに、地域の皆さんに信頼され安心を与え愛されるクリニックを目指しています。主に内科、消化器内科を診療していますが、その他のことでも何か困ったことがありましたら気軽に相談していただけたらと思います。

また、クリニックの近くに、サービス付き高齢者向け住宅いわゆる「サ高住」を開設しています。サ高住とは、安否確認や生活相談のサービスがついている、マンションやアパートのような独立した住居です。必要に応じて介護サービスや食事提供サービスも受けることもできます。



生活区域はバリアフリー設計で各室トイレと洗面台、電動ベッドがついています。「入居者の方に食事を楽しんでいただきたい」がありましたので、食事の内容だけでなく食器にもこだわりました。ご自分の家となるお部屋と、そこから一步外に出るとご近所さん(他の入居者様)がいて、話したり相談できるスタッフもいる、その空間が笑顔の集まる場所になることを目標にしております。まだ空室もあり、施設、居室の見学もできますので、興味のある方は連絡をしていただけたらと思います。



サービス付き高齢者向け住宅クリニック「Smile Garden つのづ」



おかだファミリー クリニック

院長 岡田 浩文

〒695-0021
島根県江津市都野津2379-3
☎0855-52-7899 FAX0855-52-7822

診療科目／内科、消化器内科、訪問診療
受付時間／毎週 月火水金 9:00~12:00、16:00~18:00
木土 9:00~12:00
休診日／木・土曜午後、日曜、祝祭日



スマイル ガーデン Smile Garden つのづ

施設長 岡田 智子

〒695-0021
島根県江津市都野津2372-6
☎0855-52-7222 FAX0855-52-7258
お問い合わせ時間帯／月~金 9:00~17:00

「家で暮らしたい」という思いを大切に

今回ご紹介する施設は、江津市江津町の「高砂訪問看護ステーション」管理者 中野協子さんです。

高砂ケアセンター内にある高砂訪問看護ステーションは、平成10年4月1日に看護師2.5人体制でスタートし、現在は看護師7名、理学療法士3名（江津総合病院兼務）、事務員1名の体制で活動しています。

訪問地域は旧江津市が主ですが、依頼があれば、自動車で片道30分程度である江津市桜江町や大田市温泉津町にも訪問しています。

利用者数は約100名となっていますが、私たちの理念である「大切なひとりひとり～利用者、家族ひとりひとり、職員ひとりひとり～」のもと、住み慣れた自宅や地域で快適な療養生活が送れるよう、安心と信頼の在宅ケアをめざし努力しています。毎日24時間の電話を受けて利用者様に安心をお届けできる様、相談・対応をしています。

高砂訪問看護ステーションは、済生会グループの江津総合病院や白寿園（特養）が近距離に立地しており、スムーズな在宅生活への移行や医療を継続できるように、担当者による週1回の連携会議を行い、グループで連携を深めています。

また、浜田医療センターからの退院患者さんについては、退院前カンファレンスに出向くケースもあり、浜田医療センター地域医療連携室を通じ退院支援も行っていますので、江津市の自宅に帰られる方で困っていることがありましたらお気軽にお問い合わせください。

ここ数年のステーションの動向を見ますと、一旦入院するとなかなか自宅への退院が難しくなっていますし、在宅での看取りも減っています。



独居であったり、介護者が高齢であったり、家族全員が働く世帯が多いことが要因となっているので、ある程度自立した生活が送れないと、この地域では自宅での介護が難しくなっていると感じます。

国は地域包括ケアシステムの構築に向けて在宅医療を重視していますが、サービスの受け皿が少ない中、ある程度介護者の介護力がなければ自宅へ帰る事は難しくなるのではないかと思います。これからは地域住民のインフォーマルな力も大切になってくると考えます。

私達はこれからも「家で暮らしたい」という思いを大切に、タイムリーな自宅への支援が出来るようにサービス関係者と連携し支援していきたいと思います。



高砂訪問看護ステーション

〒695-0011
島根県江津市江津町1110-15
TEL0855-52-5568 FAX0855-52-5578
営業時間／平日 8:30～17:15
定休日／土曜、日曜、祝日、年末年始

※臨時訪問や特別指示期間等においては対応いたします。

研修医だより

命を守り育む医師を目指して



初期研修医1年目 山口 まどか

(H29年3月島根大学医学部卒)



められるということです。今はまだ研修医であり分らないことや知らないことばかりです。難しい場面では不安や焦りを感じることもありますが、少しでも皆様の笑顔がみられるように日々勉強していきたいと思っております。

現在、浜田医療センターは研修医が9人所属しており、日々研鑽を積んでいます。いつでも相談のつくださる研修医2年目の先輩方や、ライバルとして、また仲間として助け合える同期に恵まれ、充実した研修ができています。お互いが学んだことを共有し、全員でさらにより研修医になることを目指しています。研修中はすべての科を回れるわけではなく、一つの科で1～2か月しか研修できません。短期間ではありますが、各科で学ぶことのできる技術、知識を最大限に学んでいきたいと思っております。また各科で出会った患者さんやご家族が少しでも笑顔になれるように努力していきます。地域の皆様、病院内スタッフの方々、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、拙い文章にお付き合いいただきありがとうございました。寒くなってきました。くれぐれも体調を崩されませんよう、皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。



朝夕冷え込む季節となってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今回「研修医だより」を担当させていただきます、研修医1年目の山口まどかと申します。よろしくお願いいたします。

はじめに、私は兵庫県姫路市出身で高校卒業までは姫路市に住んでいました。その後島根大学に入学し大学生活6年間を出雲市で過ごしました。大学卒業後は縁あってこの浜田医療センターで勤務させていただいております。浜田市は大学生のときに何度か訪れたことがあります。当時から山あり海ありの自然に恵まれた美しい土地という印象でしたが、住んでみると気候もよく人々の温かさを感じられる土地で、ますます好きになりました。社会にでて初めて住んだ土地が浜田でよかったと感じております。

4月からの半年間を振り返ってみると、反省と喜びの連続でした。初めのころは戸惑いばかりで手も足もでない状態でした。今は少しずつ環境に慣れ、考えられるようになってきて、皆様の笑顔がみられた時にはやりがいと喜びを感じます。上級医はいつでも丁寧に指導して下さり、研修医が勉強する機会を与えてくださいます。また看護師や薬剤師をはじめとするスタッフの皆様も多方面で私たちを支えてくださいます。他職種と関わることで今の自分に足りていないこと、気づけなかったことに気付く機会となり、日々感謝しています。

働き始めて実感することは、医師という職業は、知識や技術はもちろんのこと責任感、判断力、思いやりの力が求

緩和ケア認定看護師の 仕事について

緩和ケア病棟 竹元 千恵

2010年に緩和ケア認定看護師の資格を取得し、緩和ケア病棟で勤務しながら「緩和ケアチーム」のメンバーとしても活動しています。

みなさんは「緩和ケアチーム」についてご存知でしょうか？直接、患者さん・ご家族のところに伺うことは少ないので、ご存知ない方も多いかもしれません。

緩和ケアチームについて

「緩和ケアチーム」を紹介したいと思います。現在、「緩和ケアチーム」は、医師2名・薬剤師1名・栄養士1名・緩和ケア認定看護師1名・がん化学療法看護認定看護師1名で構成されており、毎週木曜日の午後から各病棟をラウンドし、主治医や看護師と連携し患者さん・ご家族のサポートを行っています。

活動内容は、浜田医療センターのホームページにも載っています。ぜひ、ご覧になってみてください。

https://www.hamada-nh.jp/sinryoka_itiran/team4/

緩和ケアチームの活動

10月の緩和ケアチームの介入は22件でした。そのうち、腹痛や腰痛などの「痛み」が89%を占めており、最も多い症状となっています。

また、患者さんやご家族が体験される「痛み」は身体的なものだけではなくありません。病気になったことによる不安など精神的な痛み、治療や通院に伴い今までの



ように仕事ができなくなる、治療費がかかるといった社会的な痛み、そして「死ぬかもしれない」といったスピリチュアルな痛みもあります。身体的・精神的・スピリチュアルな「痛み」に対しては、薬やケアが有効な場合があります。社会的な「痛み」は相談することで解決することがあります。

「痛み」があるときは必ず医師や看護師に相談してください。必要な支援をみんなで考えていきます。緩和ケアチームが直接伺うこともあると思いますのでよろしくをお願いします。

最後に...

「緩和ケア」は、がん患者さんだけでなく、すべての患者さんに必要なケアと考えられるようになってきています。「緩和ケア」についての相談は、「緩和ケア病棟見学会」「がん相談支援センター」でも行っています。お気軽にご相談ください。



緩和ケアチーム

「緩和ケア」についてのご相談

- 緩和ケア病棟見学会
- がん相談支援センター

お気軽にご相談ください



Hospitality

地域のホスピタリティを訪ねて

自他共栄 ～明るい豊かな浜田の実現～

一般社団法人 浜田青年会議所

第60代理事長 遠藤 祐之(えんどう・ひろゆき)

浜田青年会議所とは

私たち一般社団法人浜田青年会議所は、浜田地域に暮らす20歳から40歳までの青年経済人のメンバーで構成される奉仕団体です。2017年度は、私のスローガンの「自他共栄～明るい豊かな浜田の実現～」のもと、26名のメンバーで1年間、青年会議所活動に取り組んでおります。

青年会議所は、奉仕・修練・友情の3信条の元「明るい豊かな社会」の実現に真摯に取り組む団体であります。今振り返ると、私は青年会議所に入会する前、個人で浜田を「明るく豊かな社会」にすることを実現しようとしていました。しかし個の力では限界があります。たくさんの失敗をしてきたからこそこの青年会議所という団体の素晴らしさを今、感じております。

個を磨き、団体としてのスキルをさらに向上させて行くことで、浜田青年会議所が浜田に必要とされるリーダーシップを発揮できると考えています。他県から見た場合、東部のほうに注目が集まることが多いと感じます。それはなぜなのか？我々が住むこの浜田に魅力がないのか？そうではありません。浜田には観光資源がたくさんあります。なぜなら、30分圏内に美しい海、緑豊かな山、誇れる伝統文化があり近年では高速道路も整備されてきており、その観光資源を活用できる環境も整いつつあります。そして何より有能な若い人材もたくさんいます。しかし、そんな素晴らしい観光資源と有能な若人たちを活かせ、また活躍できる浜田でしょうか？小さなこどもからお年寄りまでが明るく豊かに暮らせる浜田にするために我々青年が出来ることを考え、若人が活躍できる社会を実現するために様々な活動を推進しております。

未来を切り開く若人育成の推進 ～高校生政策甲子園～

私たちは今年度9月に「高校生政策甲子園」を社会開発運動の事業として実施しました。

国の方針で、選挙権が18歳より与えられました。これは若人が自分の未来を選択できる貴重な権利を得たと言えます。その権利を与えられたとしても政治に無関心では意味がありません。これは18歳に限らず、選挙にいかない多くの人に言える事です。が、そもそも興味がない・自分が選挙に行っても行かなくても何も変わらないと言う思い込みがそうさせてしまっていると考えます。まさに18歳選挙権に被る世代でもあり、近々に卒業を控え、進学・就職で浜田を離れる世代であります。もちろん、浜田に残る者もいるでしょう。近い将来それぞれが異なる立場になる若人たちが明るく豊かな浜田の未来を考える機会を作り、浜田に残る若人、浜田を出る若人それぞれが誇りを持てる浜田のビジョンを自らが考え示してもらい、次代を担う若人たちの思いを市政に届ける役割を我々浜田青年会議所が担いたいと考えます。若人が自ら考え、行動することで自分たちの住む浜田の未来を自



分たちで決めることができることを知り、それによって市政に興味をもってもらいたいと考え実施しました。

当日は、浜田高校、浜田商業高校、浜田水産高校の代表の生徒たちが、自分たちが考えた政策をグループでプレゼンテーションし、聴衆に訴え、それを聴衆者が選挙方式で投票し、優秀賞を決定するというものでした。どの高校も素晴らしい提案をされ、高校生でも立派な政策を企画立案できる可能性を見せてくれました。



浜田藩開府400年に向けて

2019年浜田市は開府400年という記念すべき年を迎えます。この記念すべき年を迎えるにあたり、(一社)浜田青年会議所でも毎年、伝統文化保存、継承、発展に向けての事業を大名行列保存会の皆様のお力添えを頂きながら取り組んでいます。昨年は大名行列奴隊の浜田市無形文化財指定に向けた取り組みも進み、デジタルアーカイブという形で資料作成したことで伝統文化の保存・継承も進んでいます。

2019年浜田藩開府400年という節目の年を迎える絶好の機会をチャンスと捉え、開府400年に向けて大名行列を周知して頂くことや浜田市に古くから存在する歴史ある物を利用し、今まで以上に市民の方に知っていただくことで、明るい豊かな浜田の実現に繋がると考えています。行政、他団体と連携しながら今後発展の部分に特に力をいれて参りたいと思っております。

未来にむけて

私たち浜田青年会議所は、この浜田の明るい豊かな発展に向けて日々取り組んでおります。個々のメンバーが、青年会議所という学び舎でしっかりと学び事業を展開して行く中で、レベルアップを図り、地域に還元していくことで、この地域は発展していくと思っております。少子高齢化、中山間地域の過疎化など、様々な問題がありますが、未来を創っていく私たちが真摯に問題に取り組む考えることが、とても大切なことだと考えます。

これからも、一人でも多くの仲間と活動や運動に取り組み、明るい豊かな浜田の実現に向けて取り組んで行きたいと考えております。

2017 浜田駅北 医療フェスタ

場所 浜田医療センター

たくさんのご来場、
ありがとうございました!!

今年も開催しました!

庶務係 錦織 弘樹

10月15日、浜田医療センター、浜田医療センター附属看護学校において「2017浜田駅北医療フェスタ」が開催されました。

当日は天候の悪い中、多くの方にご来場頂き、盛大に開催することができました。体験イベントでは「白衣で写真撮影」、「外科手術体験」などが人気でした。「外科手術体験」は研修医、診療看護師にアドバイスを受けながら、実際に道具を使って外科の縫合の手術を体験できるため、医者を目指すきっかけになったという方もおられました。

ボランティアの方々をはじめ、附属看護学校の学生の皆様、浜田駅の駅員の皆様、ご協力いただきました方々にお礼を申し上げます。浜田の一大イベントの一つとしてこれからも地域と共に盛り上げていきたいと思っております。今後ともよろしく願いたします。

皆様、是非来年もお越しください。



平成29年度 市民公開講座の 予定について

浜田医療センターでは、地域住民の皆様を対象に、市民公開講座を定期的で開催しています。平成29年度の予定は以下のとおりです。演題名など詳細が決まり次第お知らせします。皆様のご来場をお待ちしています。



11月15日(水) 「心不全について知ろう」
18時～19時 2階総合研修センター

井上慢性心不全認定看護師

1月17日(水) 演題名未定(整形外科疾患)

柿丸整形外科部長

えんげ 嚥下かわら版 「食事の姿勢について」

摂食嚥下障害看護認定看護師 田月 三和子



NST専従看護師・龍里さんと

摂食嚥下障害看護認定看護師より、食事に関することや口腔ケアに関する知識を嚥下かわら版として病院内に月2回発行しています。今回は食事の姿勢について説明させていただきます。

食事の姿勢を整えることが大切

脳卒中後遺症や高齢などの様々な要因で嚥下機能（飲み込む力）は低下します。

脳卒中後遺症では嚥下機能の低下に加え、手足の麻痺が残っていることが多くあります。さらに、拘縮（けいしゅく）といって関節の動きが制限されてしまい、思うように身体を動かすことが困難となってしまうことがあります。手足の麻痺や拘縮が起ると、姿勢を上手に保つことができなくなります。

食事をする際に姿勢が崩れてしまうと、身体の様々な部分に力が入ってしまい、嚥下機能に影響を及ぼし、十分に力を発揮することができなくなります。

このことから、食事をする際にはまず姿勢を整えることが大切になります。

ベッドや車椅子または椅子でみられる良くない姿勢です。（図1）

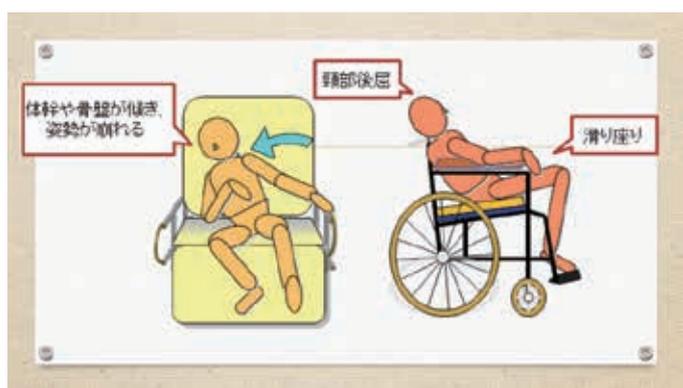


図1 ベッド上や車椅子でみられる不良な姿勢

身体は傾き、臀部（でんぶ）がズれてしまい、頸部が後屈している姿勢です。頸部が後屈すると、食物が気管へ入りやすくなり、誤嚥のリスクが高まります。

まずは、姿勢が左右対称となるように枕などで調整をします。（図2）

姿勢は麻痺のある側に傾きやすくなるため、麻痺のある側に枕を入れながら調整をします。

頸部が後屈しないように、顎から胸のあいだに指が4本入るように（4横指）、枕で頭の位置を調整します。



図2 体幹・頭部の位置を整える

座って食事をする時のポイント

自宅や施設では車椅子や椅子で食事をすることが多くあると思います。

座位で食事をする際には、

- ①視線がまっすぐ前を向くような姿勢であること
- ②椅子にしっかりと腰かけ、臀部がズれていないこと
- ③座った際に膝が90度の角度となるように調整すること
- ④足底が床にしっかりと接地していること
- ⑤テーブルの高さは肘と同じ高さになるよう調整することに注意をして姿勢を整えます。（図3）



図3 座位での正しい姿勢

食事を安全に美味しく食べるためには、まず姿勢を整えることが大切になります。どのような姿勢が患者さんにとって安楽で安全であるかを意識しながら姿勢を整えていきましょう。

募集

Hospital volunteer

病院ボランティア

「病院ボランティア」とは

浜田医療センターにおいて受付補助や施設の案内、移動支援を行うほか患者さんの声を病院へ橋渡しする役割を担い、患者さんやご家族様が安らぎを得られる環境で安心して治療が受けられるよう支援することを目的に活動し、地域医療の質の向上に貢献しています。



どんな人が活動しているの？

現在は17名のボランティアスタッフが活動しています。年齢層も20代～80代と幅広く、お仕事を定年された方、お仕事や家事の合間の空いた時間を活用している方などが参加されています。特に資格も必要ないため、どなたでも参加できます。



どんなことをするの？

参加して下さる方の善意の気持ちで活動していただいているため「無理なく、自分ができるところを」ことを大切にしています。手の空いた時間のみのご参加でも構いません。全員が頻繁に参加されるわけではなく、参加できる日にお手伝いしていただくというスタイルです。

月に1度の「定例会」で わいわい楽しくミーティング

メンバーみんなでコミュニケーションをとることで、活動を通して感じている不安なことや心配事なども話を聞いてもらって解決することができます。

ミーティングでは病院の担当者に要望等をお伝えし、改善・対策をとっていただいています。ご参加くださっている皆さんが、気持ちよく活動を続けられるように、メンバーそれぞれが協力し合い、いい関係づくりができています。



平成27年度 県民いきいき活動奨励賞を受賞！

私たちは今まで15年間浜田医療センターでボランティア活動をしてきました。この度、温かい目を向けていただき、受賞できたことは本当にうれしいことです。超高齢社会に、より良く対応していき、また必要とされる病院側と密接な連携を取りながら活動していきたいと思っています。



私たちと一緒に 「病院ボランティア」はじめませんか？

病院ボランティアに興味のある方、もっと詳しく知りたい方は、下記までご連絡ください。

連絡先

国立病院機構

浜田医療センター

管理課（病院ボランティア担当者まで）

電話：0855-28-7190



看護学校だより

浜田医療センター附属看護学校 <http://www.hamakan-nh.jp/>

学校祭

学校祭運営委員長 前森 陽二郎



10月14日・15日、浜田医療センター附属看護学校の学校祭を開催しました。

今年の学校祭のテーマを「つなぐ」でした。いつも私たちを支えてくださる多くの方々に参加していただけるような催し物を考え、全員で協力し企画して参りました。多くの方々とふれあう中で人と人とのつながりをより一層感じることができました。そして改めて地域の方々に支えられている学校であることを認識する機会になりました。

これからも、私たちは地域の方々、講師の先生方、先輩の皆様に見守っていただきながら、日々の学校生活が有意義な時間となるよう一生懸命学び、患者さんに寄り添うことができる看護師になれるよう努力していきたいと思います。

今後ともご指導くださいますようお願い申し上げます。

学校祭1日目

映画「スクール・オブ・ナーシング」の上映会を開催しました。学生、一般の方、教員 総勢136名で視聴しました。

この映画は看護学生が臨地実習を通して、看護とは何なのか考える物語です。映画の中の学生が奮闘する姿を見て、看護学生としての日頃の姿と重ねながら映画を鑑賞しました。またこれから目指していく看護師像を改めて考える機会となりました。

学校祭2日目

看護学校1～5階、すべての階で催し物を開催しました。天候が思わしくない中、来場者はなんと1978名!昨年度同様、大盛況でした。当日は、足元のわるい中にもかかわらず、当校にご来場いただきました地域の方々に感謝いたします。

来年度も多くの方にご来場いただけるよう、学生一同協力して企画・運営していきます!



学校祭 開会宣言!!



映画「スクール・オブ・ナーシング」の上映会の様子



学校長を囲んで1枚!



運営委員長、駅北フェスタの開会式にも参加



ちびっこたちにも大人気!



ハンドマッサージで癒されてください。



フリーマーケット会場。地域の方々にもご出店頂きました。



今年は手作りカレーライスでおもてなし!





[5階イベント会場] 毎年ご参加いただく地域の方々に感謝。今年も各イベントで盛り上がりました。当校の手話部も頑張っています。



[学校紹介ブース] 看護学校での学習内容を紹介



今年の運営委員



天候が良くなかったので、来場者の足元が滑らないよう掃除も頑張っています。



今年も大成功!!

学生募集

30年度の入試情報

[一般入学試験日] **平成30年1月18日(木)**

[出願期間] **平成29年12月18日(月)～平成30年1月9日(火) 必着**

※30年度の「特別推薦入試(指定校制)」と「一般推薦・社会人入試」の出願期間は終了致しました。

当校での学校紹介/進路相談

オープンスクール

[開催時期] 2回/年 春と夏

[対象] 春) 高校生、社会人、保護者

夏) 高校生、社会人、中学生、小学生(高学年)、保護者

[内容(平成29年度)] 看護技術の体験(ハンドマッサージ、沐浴、創傷処置など)、学生との交流会、教員による進路相談

学校祭

[開催時期] 1回/年

10月に浜田駅北医療フェスタと同時開催

[対象] 看護学校に関心のある方全て

看護学校訪問

県内の高等学校のインターンシップを受け入れています。今年10月には、島根中央高等学校1年生、江津高等学校2年生が来られました。

高校訪問

毎年、島根県内、近隣県の高等学校や学校説明会の会場を訪問し、当校の紹介をしています。



[お問い合わせ先]

独立行政法人国立病院機構

浜田医療センター附属看護学校

〒697-8512 島根県浜田市浅井町777-12 ☎0855-28-7788

— 資料請求は公式ホームページから —

<http://www.hamakan-nh.jp/>

※その他ご不明な点などありましたら、お気軽にお問い合わせください。

スマホをご利用の方は
こちらから

\\ 詳細は、当校のホームページに掲載しております /

当校は、常時学校訪問を受け付けておりません。少しでも看護の道に興味がある方は、ぜひ当校にご連絡ください!



浜田医療センター附属看護学校、通称“はまかん”。地域の方々からも愛される看護学校をめざしています!



接遇研修

「ボイスストレッチ」

去る9月27日(水)に、病院職員を対象とした接遇研修を実施しました。今回は人、組織を動かす声の磨き方を学ぶということで、ボイストレーニングの一つである「ボイスストレッチ」を声トレ塾代表の新生剛士(しんじょう・たけし)先生をお招きして実施しました。

なかなか経験できないストレッチで声枯れしにくく、声のとおりもよくなりました。非常に有意義な研修となりましたので、業務に活かしていきたいと思えます。



ボイスストレッチの様子

●新任医師の紹介



脳神経外科医師
内村 昌裕

(うちむら・まさひろ)

【出身大学】島根大学(平成27年卒)

【出身地】広島県

【趣味】テニス

●ひと言メッセージ

患者さんに寄り添った丁寧な診療を心掛けます。よろしく願います。

みなさまのお役に立てるように頑張ります!



健康レシピ

きのこチャウダー

1人前

94 kcal



クラムチャウダーのクラムとは『食用の潜砂性二枚貝』のことを言います。牛乳をベースとした白いクリームスープで仕上げたものはボストンクラムチャウダーとも呼ばれます。今回はしめじ・舞茸を加えて秋らしく仕上げたこれからの時期にぴったりのレシピを紹介します。

作り方 材料(4人分)

- | | |
|---------------|--------------|
| ★ポイルむきあさり…40g | ★バター …… 12g |
| ★舞茸 ……………40g | ★牛乳 …… 240cc |
| ★しめじ ……………40g | ★コンソメ…4g |
| ★玉ねぎ ……………40g | ★塩 …… 0.8g |
| ★人参 ……………20g | ★こしょう …少々 |
| ★水 ……………200cc | ★パセリ …… 少々 |
| ★小麦粉 ……………20g | |

- ①舞茸・しめじは石づきをとり、小さ目にカットする。
- ②玉ねぎ・人参は1cm大の角切りにする。
- ③鍋にバターを溶かし、具材を全て入れて炒める。
- ④具材がしんなりしたら小麦粉を入れ軽く炒める。
- ⑤水にコンソメを溶いたコンソメスープを用意し、④に少しずつ加える。
- ⑥野菜に火が通るまで煮る。
- ⑦最後に牛乳を加え、塩こしょうで味を整える。
- ⑧器に盛り、パセリを散らして完成。

募集 平成30年度 看護師・助産師

平成30年度採用の看護師・助産師を募集しております。
応募資格は下記のとおりです。

■**応募資格** 看護師または助産師の資格を有する方、平成30年3月に看護師または助産師の資格取得見込みの方。

お問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構 **浜田医療センター**
〒697-8511 島根県浜田市浅井町777-12
☎0855(25)0505 (平日9時～17時)
担当: 副看護部長 または 管理課人事担当

看護補助者 (メディカルアシスタント) 〈非常勤職員〉

みなさんは看護補助者という仕事をご存知ですか?看護補助者は医療の現場で看護師のサポートをする仕事です。看護補助者として働く際は、**資格は必要ありません**。やりがいを感じることができる素敵な職業です。幅広い年齢層の方が元気に働いています。



■**内容** 看護補助業務(若干名) ※1年契約の更新有り(最長3年)

《主な仕事内容》

メッセンジャー 環境整備 食事の配膳 シャワー浴



院内の研修も充実しているので、**初心者の方も**大丈夫です。勤務は週32時間で、遅出の時は朝ゆっくりできます。平日にも休日があるので用事もすませることが可能です。

■**勤務時間** 週32時間 ※週32時間となるようシフトを組みます。

①7:00～13:30 ④11:00～17:30
②7:00～15:00 ⑤11:00～19:00
③9:00～15:30 ⑥12:30～19:00

■**休憩時間** 30～60分

■**給与** 時間給/890円
諸手当/通勤手当、超過勤務手当
賞与/年2回6万円程度(前年度実績)
社会保険等/健康保険、雇用保険

研修内容

- ・医療チームの役割について
- ・医療安全 ・感染予防対策
- ・車いす移送、食事介助、入浴介助など日常生活にかかわる業務の講義と実技演習など

奨学生募集!

看護大学・専修学校等を卒業後、当院に常勤看護師等として勤務する意志のある方へ奨学金を貸与いたします。

貸与
金額

年間 **60** 万円

貸与
期間

奨学生となった日の属する年度から看護大学・専修学校等を卒業する年度までの期間
※最長4年間

貸与が受けることができる方

- 看護大学・専修学校等に在学する方
- 看護師または助産師免許取得後、看護師または助産師として浜田医療センターに勤務する意志のある方

応募期間

原則、貸与を希望する年度の4月末まで
※応募期間後の貸与希望は下記にお問い合わせください。

貸与決定までの流れ

- ① 応募必要書類の提出
- ② 書類選考・面接
- ③ 貸与決定通知の発送
- ④ 誓約書・振込口座依頼書の提出
- ⑤ 指定口座に奨学金振込

応募必要書類

- 奨学生申請書
- 在学証明書 または 成績証明書
- 履歴書

■奨学生の資格の取消について

- 次に該当する場合は、その時点で貸与は解除されます。
貸与した奨学金は、すみやかに全額返還していただきます。
- ① 看護大学・専修学校等を中途退学した場合
 - ② 看護大学・専修学校等で新たな学年に進級できない場合
 - ③ 浜田医療センターに勤務する意志がなくなった場合
 - ④ 貸与を辞退された場合
 - ⑤ 国家試験に不合格となった場合

返還債務
の免除

- 看護大学・専修学校等を卒業後、当院において常勤看護師または助産師として貸与期間相当勤務した場合は全額免除します。
- 貸与期間に満たないで離職した場合は、在職期間に応じて免除します。
※残余期間分については返還の必要があります。

お問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構 **浜田医療センター**
〒697-8511 島根県浜田市浅井町777-12
☎0855(25)0505 (平日9時～17時)
担当: 管理課

浜田医療センター 外来診療担当医表

平成29年7月25日現在

診療科	診察室	月	火	水	木	金	備考
総合診療科	初診	北條 宣政	河田 公子 ^{※2}	北條 宣政	河田 公子 ^{※1}	北條 宣政	※1 診療時間9:30~ ※2 診療時間10:00~12:00
	再診	河田 公子 ^{※1}	-	-	-	-	
血液・腫瘍内科		-	島根大学より ^{※1}	-	島根大学より ^{※1}	島根大学より ^{※2}	※1 診療時間10:30~午前のみ 予約制 ※2 隔週(診療時間10:30~午前のみ) 予約制
腎臓内科		伊藤 孝史 ^{※1}	-	花田 昌也 ^{※1}	花田 昌也 ^{※2}	花田 昌也 ^{※3}	※1 診療時間9:30~12:30 ※2 第1・3・5木曜日(診療時間 午前中)予約制・紹介患者のみ ※3 診療時間9:30~12:00 予約制
特殊外来		-	-	-	透析予防外来 ^{※4}	-	※4 第2・第4木曜日 予約制
内分泌・代謝内科		-	-	-	島根大学より [※]	-	※ 予約制
呼吸器内科	1診	柳川 崇 [※]	柳川 崇 [※]	島根大学より [※]	柳川 崇 [※]	柳川 崇 [※]	※ 予約制・初診は紹介患者のみ
	2診	-	島根大学より [※]	-	-	-	
神経内科		-	島根大学より	-	-	木谷 光博 [※]	※ 午後 予約制
消化器内科	初診	長谷川 亮介	生田 幸広	濱本 航	八杉 晶子	- ^{※2}	※1 毎週月曜日再診休診 ※2 毎週金曜日初診休診 ※3 予約制
	再診	- ^{※1}	長谷川 亮介	八杉 晶子	濱本 航	生田 幸広 ^{※3}	
循環器内科	初診	飯田 博 ^{※1}	特殊検査日 (休診)	松田 晋 ^{※1}	特殊検査日 (休診)	明石晋太郎 ^{※1}	※1 予約制・紹介患者のみ ※2 予約制
	再診	松田 晋 ^{※2}	-	明石晋太郎 ^{※2}	-	飯田 博 ^{※2}	
小児科	初診	担当医	担当医	担当医 ^{※1}	担当医	担当医	外来担当医 齋藤恭子・田部有香 ※1 紹介患者又は予約のみ ※2 毎週火曜日 1才以上 診療時間10:00~ 予約制 1才未満 診療時間13:30~ 予約制
	再診	担当医	担当医	担当医 ^{※1}	担当医	担当医	
午前予約外来		-	予防接種 ^{※2}	-	-	-	※3 予約制
午後予約外来		フォローアップ外来 (再診) ^{※3}	予防接種 ^{※2}	フォローアップ外来 (再診) ^{※3}	フォローアップ外来 (再診) ^{※3}	1か月健診 ^{※4}	※4 毎週金曜日 診療時間13:00~ 退院時予約制
特殊外来		-	-	-	内分泌外来 ^{※5}	-	※5 毎月第1・第3木曜日 内分泌外来 受付時間13:30~15:00 予約制 ※6 毎月第3水曜日 神経外来 診療時間10:30~ 予約制
		-	-	神経外来 ^{※6}	-	-	
外科	1診	栗栖 泰郎	永井 聡	栗栖 泰郎	渡部 裕志	高橋 節	※ 診療時間8:30~14:00 予約制
	2診	-	-	清水 翔太	-	-	
午後・特殊外来		-	-	-	ストーマ外来 [※]	-	※ 診療時間8:30~14:00 予約制
乳腺科		吉川 和明	-	-	吉川 和明	吉川 和明	
整形外科	1診	渡辺 洋平	柿丸 裕之	手術日	柿丸 裕之 (脊椎外来) ^{※1}	手術日	※1 予約のみ
	2診	担当医	牛尾 公典	-	渡辺 洋平	-	
関節リウマチ外来		-	近藤 正宏 ^{※2}	-	-	-	※2 隔週火曜日 紹介患者かつ予約のみ
形成外科		松江日赤より [※]	-	-	-	-	※ 第2・第4月曜日午前のみ 診療時間10:30~ 予約制
脳神経外科		加川 隆登 [※]	手術日(休診)	木村 麗新 [※]	-	-	※ 予約制・初診は紹介患者のみ
呼吸器外科		小川 正男	手術・特殊検査 (休診)	小川 正男	手術・特殊検査 (休診)	小川 正男	
心臓血管外科		石黒 眞吾	手術日(休診)	堀江 弘夢	手術日(休診)	石黒 眞吾	
皮膚科		進藤 真久	手術・特殊検査 (休診)	進藤 真久	進藤 真久	進藤 真久 [※]	※ 予約のみ
泌尿器科		手術日(休診)	盛谷 直之	盛谷 直之	盛谷 直之	盛谷 直之	
産婦人科	1診	小林 正幸	矢壁 和之	平野 開士	矢壁 和之	小林 正幸	※1 (診療時間9:00~10:00) 予約制 ※2 (診療時間13:30~15:00) 予約制
	2診	平野 開士	平野 開士	小林 正幸	平野 開士	矢壁 和之	
午後外来		-	乳房ケア外来 ^{※1}	乳房ケア外来 ^{※1}	乳房ケア外来 ^{※1}	乳房ケア外来 ^{※1}	※3 (診療時間14:00~15:30) 予約制 ※4 (診療時間13:00~15:00)
		超音波外来 ^{※2}	助産師外来 ^{※3}	助産師外来 ^{※3}	-	産褥外来 ^{※4}	
眼科		井上真知子	手術日(休診)	井上真知子	井上真知子	井上真知子	
耳鼻咽喉科		-	鳥取大学より ^{※1}	-	-	鳥取大学より ^{※1}	※1 午前のみ(診療時間8:30~12:00) 予約制・初診は紹介患者のみ ※2 午後のみ(受付時間12:00~16:30) 診療時間13:00~17:00 予約制
	午後外来	鳥取大学より ^{※2}	-	-	鳥取大学より ^{※2}	-	
放射線科		吉田弘太郎	特殊検査日 (休診)	特殊検査日 (休診)	特殊検査日 (休診)	吉田弘太郎	
緩和ケア外来		-	担当医 [※]	-	-	-	※ 診療時間13:30~15:00
リハビリテーション科	不定	井上 幸哉 [※]	井上 幸哉 [※]	井上 幸哉 [※]	井上 幸哉 [※]	井上 幸哉 [※]	※ 予約制(地域連携室経由)
麻酔科 (ペインクリニック)		-	土井 克史 [※]	-	-	-	※ 診療時間 9:30~ 予約制・紹介患者のみ
歯科口腔外科		小池 尚史 ^{※1}	小池 尚史 ^{※1}	手術日	小池 尚史 ^{※1}	小池 尚史 ^{※2}	※1 予約制・初診は紹介患者のみ ※2 診療時間 8:30~11:00 予約制・初診は紹介患者のみ ※3 午後のみ・予約制
		-	-	-	-	専門外来 ^{※3}	

診療受付時間／午前8時15分～午前11時00分(再来受付機は午前8時より稼働)

編集後記

朝夕が冷え込む季節となってきました。澄み渡る夜空に星がより美しく光り、もうすぐ綺麗なイルミネーションも見られる頃です。気温の変化で体調を崩さないように注意しつつ、楽しく元気に生活を送りましょう。(S.H)